

日時	平成29年3月29日(水) 15:30より	場所	お達者くらぶ
出席者	利用者様 ご家族様 民生委員様 一宮市 介護保険課 担当様 お達者くらぶ 大脇 戸松(玲)		
議案	お達者くらぶについて (別紙にて) “お達者くらぶ 通所介護(設立の思い)”プリントをお渡しし、読んでいただけたけど、 <u>市担当様より「運営状況(利用定員に対して何人利用か)なども示すよう」。</u>		
前回会議にて	H11年~この地に移転(17年前)、古い割にご近所さんも「ある」事しか知らない。何をやっているのか、どういう時に利用できるのか、など発信の場を作って来なかった。 ○現在の利用者さん同様、地域の方にも広くお達者くらぶを知っていただき、お出かけの場として、または介護や高齢者に関する困りごとの相談所としても足を運んで頂ける所にしたい。 <u>(市の『お出かけ広場』とは、機能を分けた方がいい)</u>		
提案1・案内を発信する。	町内回覧板で回していただく。広報に折り込みチラシ 町内掲示板に貼り出していただく。 ⇒引き続き、お願いします。 北神明2丁目と3丁目の町会長さんには依頼できました。 戸数が大変多いので、全戸配布ではなく回覧にしたら(印刷代、紙代の節約)		
提案2・町の方々も参加をしたくなるようなプログラムを組む。	注意 (外から来ていただく方がボランティアでなら一日とかでもよいが、要支援、要介護では提供時間内は長時間いてはだめ。利用時間外はよい) ⇒実際にやってみた事 ・和太鼓教室にお誘い……参加者ゼロ 一人や2人では来にくいかも。友達となら ・劇団ボランティア公演に参観のお誘い……当日インフルエンザ流行の為、公演中止 ○内容が向かなかった?(観る出し物や、初めての太鼓より、やさしい手芸とか、折り紙でちょっとした小物作り、お菓子作りなどもいろいろなことがよいか。体操?) ○呼びかける対象をもっと絞ってみる。⇒高齢の方 在宅でやや虚弱な要支援予備軍といった方?西小島公民館の管轄内には敬老会に該当する方がいる。やり方によってはいいことだ。 ○一人ではお出かけできないけど、楽しみたい方というのは? ○横のつながりごと、参加していただけるような工夫? ⇒老人会やペタンク、グラウンドゴルフ等のチームにお知らせを配る、お医者さんの待ち合い室、喫茶店等に案内を貼らせてもらう。 ○案内に「参加費100円(お茶代)」とあると、足が遠のく? ⇒いろいろ試して、参加者が増えてきたら反応を見て考え、変えてみては。		

提案3・お達者くらぶとしても、町内会の一員としてお宮掃除や総会等に参加して、顔をつなぐ。

8月の盆踊り大会に、利用者さんも参加しては。注意（盆踊りは、夕方（利用時間外）に始まる行事なので、利用者さん+遊びに来る町の方とで定員を超えても、介護者が少なくても、計画がなくても運営上の制約はないです。）

今回 新たな提案として

①公民館をお借りして、ぷちイベント？を地域の方を交えて行う事もいいんじゃないか。

利用時間内に、お達者の場所から出て行うイベントなどは、介護保険本来の目的から外れないように、あくまで自立支援の一環である、機能訓練の一環であるという年間計画を立てて行う事が大切です。利用とは別に、参加者を募ってするのならば人数も、場所も制限なし。計画もなくともいい。

公民館の使用料などの規定は公民館に問い合わせる。町内にあるお達者くらぶが使う場合なので、外部の施設が借りるよりは安いのではないかと。3部屋位あり、大きい部屋は100人入れる。

②おじま幼稚園のこどもさんと交流してみても？うんどうかいを見に行ったり、運動会の練習（お隣の公園に来て秋に練習する）を応援したりしては。小さい子どもさんが一生懸命やってるのを見るのはかわいい。利用者さんたちは、とっても喜ぶんじゃないか。

利用者さんの皆さんと顔合わせ、中のご案内（フロアー、お勝手、浴室、トイレ）して終会。

次回の運営推進会議は8月ごろ開催

町会長さん、今回は予定が急すぎて、ご出席いただけず。次回は1か月以上前に日程を相談して（土曜日か、日曜日の方がいい方も）、出席していただける様に。